

## 令和7年度第2回草加市立図書館協議会会議録（概要版）

### 1 開催日時

令和8年1月29日（木）午前10時から午後12時まで

### 2 開催場所

草加市立中央図書館 4階多目的ホール

### 3 出席者の氏名

#### (1) 委員 12人

青柳伊佐雄委員長、橋本奈津子副委員長、菅野光三委員（ZOOMによるオンライン参加）、遠藤淳一委員、中山裕子委員、杉山ふみ子委員、野田圭介委員、柴康子委員、渡邊恒一委員、二俣彩友香委員、小曳京子委員、福田求委員

#### (2) 事務局 6人

矢島中央図書館長、松本副館長、浅井庶務係長、日野奉仕・資料係長、関根主事、長澤専門員

### 4 議事

#### (1) 令和8年度中央図書館運営方針及び事業計画（案）について

#### (2) サービスコーナーの運営について

#### (3) その他

中央図書館でのネーミングライツの経過について

館内整理期間の日程について

次回の会議日程について

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴者数

なし

## 7 審議の概要

### (1) 令和8年度中央図書館運営方針及び事業計画（案）について

○成果について、イベントの出展や図書館の魅力を伝える活動をしたとあるが、具体的にどんなことをしたのか。

○主な内容として、革製のしおり作成のワークショップやリサイクル本の配布、また、今年度は図書館におけるボードゲームの活用をすすめていたことからボードゲームの体験会、公民館等での出張読み聞かせ等を行った。また、本の交換会を行うブックナイトマーケットやまつばらだんち祭、松原団地記念公園で開催されたNHKのテレビ番組「あおきいろ」と同時開催していたスポーツパーク、草加駅東側にある防災公園で開催したスカイランタンのイベント、公民館まつりなど、外部団体等と連携しながら様々なイベントに出展した。

○議会図書室に今月の初めに行った際に職員より説明を受けたが、中央図書館から離れた草加近辺の方々が、予約本の受け取りや返却ができいいなと思った。また図書館の蔵書だけでなく、草加市の昔の資料や市議会の議事録、広報そうか発行当初からのバックナンバーがすべてあり、草加がどういうことをやってきたのかが分かってすごく面白かった。まだ、開設して半年程度なので、もっとPRをして市民が利用したくなるような雰囲気になっていくとよいと思う。提案として、「議会図書室」とは違ったネーミングをつけたらもっと広がるのではないかと。愛称や、議会図書室が9階にあるので、そこへ行く動線のような看板やPOPをつけるなどした方が、より伝わるのではないかと思う。

○議会図書室という正式な名称については、議会に付属するものということで設置については、地方自治法などの関係法令で決まっていたかと思う。ただ、愛称や動線、PRの工夫などによって、より市民と繋がっていく図書館の機能の一部がここにあるということを広報していけると、もっと利用してもらえるのではと考える。

○議会図書室の利用状況を聞いて、私は正直なところ意外というんだなと感じたが、図書館からすると、まだまだ少ないとのことなので、もっと広報など、利用していただく方を広げていくことを私達も協力しながら、ぜひ積極的に進めてほしい。

○今、公共図書館というのは、本の閲覧や貸出にとどまらず、地域のコミュニティの拠点、みんなが集まる場所としても注目されていると思う。地域の住民の方がみんなが集まれるイベントの開催について、より具体的に候補や検討していることはあるのか。あるいは、まだ草加市の図書館では行っていないけれども、日本中の他の図書館が行っているイベントや、人が集まる催し物で、注目していることがあれば知りたい。

○イベントには年齢層など、どういう方々が参加しているのか。

○例えば、今年度開催したボードゲームイベントの参加者の年齢層は幅広く、小学生以下から70代、80代くらいの年配の方まで参加していた。イベントの内容によって対象年齢を決めて企画をしているため、今後も、色々なターゲット層を想定し、それに応じた内容のイベントを企画していきたい。

○ボードゲームと図書館がどう結びつくのかと思ったりもするが、新しい視点の中では意味のあることなのではと思っている。

○事業計画に記載があった「各企業、地域などとの連携・協働の取り組みを推進する」という部分について、具体的にどのような協力や連携をしようと考えているのか。

○図書館の役割について、現在、国の方で行われている専門家による審議会の中で「読む」「集う」「学ぶ」ということがキーワードとしてあげられている。つまり、図書館が本を読む場所だけではないということの裏返しであるが、一方で、草加市立中央図書館では、他の視点でのイベント等は少ない状況である。図書館だけでは難しいような、市民の方にとって学びや交流、読書に繋がるような視点での取り組みを、今後も進めていきたいと考えている。

## (2) サービスコーナーの運営について

○中学校にはこういったサービスはないが、小学校にはサービスコーナーがあることは聞いていた。一定の役割を果たしてきたということであれば、廃止という言葉が適切かどうか分からないが、私はこの案に賛成である。今後の案として、「希望する学校には、寄贈をしていく予定である」ということで、本が欲しい学校はととてもありがたいと思う。我々は現場で、他の取り組みもそうだが、色々なものを立ち上げて新しいものがどんどんできていく。大変だからもうやめようということではなく、一定の成果を出してきたということであれば、スクラップという部分も必要かなと思っている。とてもいい案だと思うので、廃止案となっているが、いいものは残していただきながら、こちらを進めていってもらえるとよいと思う。

○サービスコーナーでは同じ本がずっと使われていたため、古くなっている部分が多く、子供たちの読書意欲に沿う本が少ない傾向にあると思う。草加市教育委員会の方から多く予算をいただいている、蔵書数も充実しているので、中学年、高学年が読みたい本については、学校に整備されてきていると考える。また、サービスコーナーの方々が来る時でないと、入れ替えができないということも、学校現場の小学校からすると自由に借りられない、自由に読めないという不備があったので、欲しい学校には寄贈していただくと、学校が自由に使えて、子供たちが自由に読めるという形の方が、より活用ができると思っている。その点からも、学校からするとこの案に関しては、賛成である。また、電子書籍等も活用していくという時代になってくれば、子供たちにもそちらの方の活用を促していくというのも、新しい試みでよいのかなと思っている。

○もし寄贈いただけるようであれば、児童館も検討していただくとありがたい。ただ、学校現場では、子どもが持っていくと思うが、児童館にある本も古くなっている

本が多いので、それをリサイクル本として持って行っていいという環境を作っているが、保護者がいても持って行かない現状にある。現実を見ると、結局処分になる場合もあるが、できるだけ使ってもらえる人に渡せる環境を現場では考えるようにしている。むしろ、中学校ではこういったものがあると、意外といいのだろうか。

○学校にもよると思うが、本校の生徒は割と読書意欲も高く、よく本を読む。ただ、子どもたちがこういったものがあるといいなと思うかどうかは、別になってくるのでは、もしかするとないのではと思う。図書室の利用も多いが、自分で持ってきた本を読むなど、図書室を利用する子どもと利用しない子どもに分かれる。そのため、これがあつたからよかつたということには、すぐにはならないと思う。

○現場から出ている話で、自由に利用ができないだったり、同じ本が多いと、なかなか意欲も湧かないという話があつたので、この環境のままだと難しいのかもしれないけれど、児童館も居場所づくりのために、学校の中に入れてもらい、校内カフェみたいなものやっていると多く、30分や1時間という時間だけでも、不登校だった子どもがそのためだけに来るといった環境があつたり、この場所が居場所になるような環境になると、もっと活用する方法があるのかもしれない。

○電子書籍の活用について、読み放題パックを活用するとあるが、具体的にはどれくらいの種類資料を読めるのか、あるいは、児童書専門の方からすると、小学校の児童のニーズを満たすような種類や量は十分あるのか。また、どういった環境で子どもたちは電子書籍を見ることになるのだろうか。パソコンやタブレットが配られるのか、個人のスマホなのか、どういったことを意図して電子書籍の方に移っていくと考えているのか。

○電子書籍を学校の朝の一斉読書の中で活用している学校もあると聞いているが、その際には、各生徒に貸与しているタブレット端末で見ることを想定している。また、学校によって異なるがタブレットの持ち帰りが可能な学校は、持ち帰って読書ができると思う。ほかにも個々でスマホから電子書籍を利用する子どももいると考える。

○デジタル化していくのは時代の流れだと思うが、その移行期で何が失われ何が維持できるのか、意識的に今後もやっていただければと考える。

○予算の問題が関わってくるため難しいジレンマもあると思うが、図書館としてはぜひ、より図書館の機能を充実させるような方向で改革を進めていただきたい。

○サービスコーナーは小学校向けのサービスだと思っていたが、一般の利用者も2週間に1回90分の間、そこで受け取りができるということだが、私は正直、知らなかつた。今回の廃止をするにあたって、廃止する代わりに、逆に公民館・文化センターの図書室のサービスがグレードアップするといったことをセットにして、市民に説明してほしいと思う。ぜひとも、市民に説明する際には新たなグレードアップしたサービスのことをアピールできるような発表にいただければと思う。